

新政府の方針と明治維新

教科書 P. 166、167、176

<目標>

- ①新政府の目指した国づくりについて説明できるようになる。
- ②明治維新の改革について説明できるようになる。

●明治新政府が目指した国の姿

欧米諸国に負けず対等な関係にある国。

=天皇中心に中央政府の役人が全国を支配する（①）で、様々な面において強い国。

➡明治時代の前半を中心に様々な政策、取り組みを行っていくことになる。

Q なぜそのような国づくりを目指したのだろうか？ 下にこれまでの学習を参考に書いてみよう！

<まとめ>

。 _____

。 _____

●新政府の始まり【強い国づくりへの政策 1個目】

- ・（②）を出す。（1868年）
➡明治天皇が公家や大名を率いて神に誓うという形で、国内外に新政府の方針を示す。
<主な内容> a)（③）を開くなどし、（④）の人々の意見で政治を行う。
b) 今までの悪い習慣である（⑤）などをやめ、外国との交流を深める。
- ・（⑥）を出す。（1868年）
➡新政府が一般民衆に出した基本方針。（⑦）や（ ）の禁止など江戸時代とあまり変わらない内容であると同時に（②）と矛盾するような面もあった。
- ・江戸を（⑧）と変え、年号も慶応から（⑨）に改める。（1868年）
➡明治時代となる（1868年～1912年）
- ・明治天皇が京都から東京に移り、東京が（⑩）となる。（1869年）

★国内外に基本方針を示し、年号を変え新しい雰囲気のもと、天皇と政治の中心地も揃えた。

●版籍奉還と廃藩置県【強い国づくりへの政策 2個目】

- ・版籍奉還（1869年）
<内容> それぞれの大名から（⑪）=版図と（⑫）=戸籍を（⑬）に返す。
<目的> 新政府を作り権力は集中させつつあったが、各地域では江戸時代のまま大名が領地や土地を治めており、中央集権国家を作っていくため。

- ・廃藩置県（1871年）
<内容> a) 今までの（⑭）を廃止し、（⑮）や（ ）を置く。
b) 大名を東京に移住させ、（⑮）の長官として政治を行わせるために中央政府から（⑯）と（ ）を派遣する。

<目的> 版籍奉還以降もなんとなく各大名が各地域を治めていたため、武士に代わり中央政府の役人が治める形に変え、中央集権国家を作っていくため。

★幕府はあるものの地域ごとにバラバラの統治であった形式を改め、中央政府の意向が全国に届く統治体制を作った。幕末から明治初めの一連の改革や社会の変化を（⑰）と言う。

●岩倉使節団の派遣【強い国づくりへの政策 3個目】

- <内容> 公家の（⑱）をリーダーに、長州藩出身の（⑲）や（ ）、薩摩藩出身の（⑳）、肥前藩出身の（㉑）、その他留学生など合計100人以上で1871年から1873年にかけて欧米諸国を訪問した。
※後に英語教育や女子教育に力を入れ現在の津田塾大学を作った当時6歳の（㉒）など女子留学生も参加した。

<目的> 不平等条約の改正&欧米の政治制度・産業・文化の視察

<結果> 国の力に差がありすぎ、不平等条約の改正はできず。新政府が目指した国の姿を改めて強く認識し、欧米に追いつくための政策を行っていくことになる。

★新政府を支えた人物（教P. 166の図を参考）に含まれながら、使節団に参加しなかったメンバーはだれだろう。また彼らはその間なにをしていたのだろうか。点線の左側に書いてみよう。

●新政府のメンバーの特徴

新政府のメンバーや彼らの出身藩と江戸幕府倒幕のために動いた人々や藩の関係を調べてみよう。教科書 P. 162、166 や資料集 P. 128、129 を参考に点線の左側に書こう。

富国強兵

教科書 P. 168、169、176、177

<目標>

- ①富国強兵のための政策を明治政府の国づくりの方針と関連させて説明できるようになる。
- ②政策への考え、思いをそれぞれの立場で考えてみる。

●富国強兵とは

明治政府が目指した(①)で(②)国を分かりやすいスローガンにしたもの。
明治政府が目指した国づくりを同じ意味で別の言葉で言い表したようなもの。

●徴兵令（1873年）【強い国づくりへの政策 4個目】

<目的> 欧米諸国に負けないように、全国統一の強い軍隊を作るため

※江戸時代は幕府中心の軍はあったものの幕末の薩長のように独自の藩だけで外国と戦うこともあり、それでは十分に戦えないことを痛感していた。

<内容> (③)以上の(④)が(⑤)兵役につくことを義務付けた。

ただし兵役にならない免除規定もあった。

➡(⑥)が低い人、体が(⑦)ない人、主人や長男など(⑧)において大切な人、役人や学生、お金(代入料)を270円(現在の金額に換算すると約⑨ 円)を納めた人など

Q 徴兵令を人々はどう感じたのだろうか？賛成か、反対なのか？

<考えるときの参考>

- a) なぜこの制度を国が作ったのか改めて考えてみる
- b) 資料集 P. 133 の徴兵告諭(徴兵令の前に出され今後どういう軍隊を作るか政府が示した方針)や「血税」の箇所を読んでみる
- c) 免除規定を詳しく分かりやすく示した『徴兵免役心得』が当時のベストセラーになったこと
- d) 様々な立場の人を想像してみる(政府の役人ではないが今後の社会について考えている人、江戸時代武士だった人、農民、貧しい家に生まれた二男など)

A まとめ

●地租改正（1873年）【強い国づくりへの政策 5個目】

<目的> 安定した財源の確保のため。これまでは米で納める年貢の形で、(⑩)の変動や(⑪)に左右され政府(江戸時代は幕府)の収入が不安定だった。

<内容>1、土地を所有する権利を認め、土地の所有者に(⑫)を発行する

◆(⑫)には何が書かれているか資料集を参考にまとめよう

◦地名、地番 ◦(⑬) ◦(⑭)

◦(⑮) ←土地の価格のこと。豊臣秀吉が行った(⑯)では検地帳に(⑰)が(⑮)の代わりに示されていた。

◦(⑱)

2、土地の(⑰)が(⑱)の(⑲)を(⑳)で納める形に変更する。
↑ (㉑)

◆まとめ(教科書 P. 108、109、122、資料集 P. 88 も参考に)

	これまで	地租改正後
課税基準	[] ←検地帳には[]で記載	()
税率	[%]or[%] =4公6民 or5公5民	(の)
納め方	[]で	()で
誰が	土地を持つ百姓=[]が []単位で	(の) ←()に記載

<人々の反応> 新しい納税方法となり今までより負担が減ることを期待していたが、税負担は軽ならず地租改正反対の(㉒)が各地で広がる。

➡地租を地価の3%から地価の(㉓)に引き下げる(1877年)

殖産興業と生活の近代化

教科書 P. 167、168、170～173

<目標>

- ①政府の目指した国づくりと政策を関連付けて理解する。
- ②人々の生活の変化を読み取る。

●殖産興業【強い国づくりへの政策 6個目】

- ➔「生産を殖やし（ふやし）産業を興す（おこす）こと」 = 産業や経済を発展させること
- ➔欧米諸国のように強い国となるためには経済を発展させ国力を高めることが重要

- ・ ① _____) を招くなど海外の技術の導入
 - └ 政府が高い給料を払い雇った欧米の学者や技術者
- ・ ② _____) の設立
 - └ 政府が民間の模範にもなるようにということで設立した殖産興業を推進するための工場
(例) 群馬県の ③ _____)
➔明治時代以降の輸出の代表品となる生糸を大量に生産し日本の近代化に貢献した
ということで世界文化遺産に登録
- ・ 鉄道の開通 ➔1872年 ④ _____ 間)、その後全国に展開
- ・ 電信網の整備 ➔1869年東京・横浜間に開通、その後全国に展開
- ・ 江戸時代までの飛脚に代わり ⑤ _____) の導入
➔ ⑥ _____) らによって制度が整う。彼は現在でも ⑦ _____) の肖像となっている。また、⑧ _____ や _____) という言葉も彼が最初に使ったとされる。
- ・ ⑨ _____) ←銀行の設立、富岡製糸場など多くの会社設立に貢献



●教育改革【強い国づくりへの政策 7個目】

- ・ 学制 (1872年)
<目的> 強い国を作るためには国民一人一人が広い知識を身に付けておくことが重要だった。
<内容> ⑩ _____) 歳以上の ⑪ _____) 全てに小学校教育を受けさせることを義務にする。
<違い> 江戸時代の庶民の学習場であった ⑫ _____) は一人一人の個別的な学習が主だったが、現在の学校のような集団でのスタイルになった。

Q 学制について人々はどう感じただろうか？賛成か、反対か理由も考えて枠の左に書いてみよう

--	--

- ・福沢諭吉 ➔『(⑬ _____)』という本を書く。人間は皆(⑭ _____)であり、(⑮ _____)次第で出世できると主張した。(⑯ _____)と云えりは有名なフレーズ
- ・ (⑰ _____) ➔フランスの思想など欧米諸国の思想を紹介

●身分の改革【強い国づくりへの政策 8個目】

<目的> 欧米は比較的平等な国が多く、また皆平等にすることで誰からも兵役や課税を可能にする。

<内容> ・ 四民平等

- ➔江戸時代の「士農工商」という身分制度を廃止し、天皇一族を(⑱ _____)、公家・大名を(⑲ _____)、武士を(⑳ _____)、農民、町人を(㉑ _____)とした。みな平等という意味で、武士だけに認められていた刀を持つ権利はなくなり、武士だけが名乗れた(㉒ _____)は平民も付けられるようになり、職業選択や結婚の自由も認められた
- ・ 解放令
➔「えた」「ひにん」の身分を廃止し平民とした

Q 実際には身分差別はなくならなかったが、なぜだろうか。考えて枠の左に書いてみよう

--	--

●文明開化【強い国づくりへの政策 9個目】

- (㉓ _____) ➔人々の生活に西洋風的生活習慣や物が取り入れられていった雰囲気
- <目的> 政治や経済だけでなく暮らしや文化の面においても欧米諸国のようにしたいという思惑があった。とにかく欧米諸国にあらゆる面で追いつきたい一心だった。
➔偶然に欧米の生活文化が入ってきたのではなく、政府が導入する雰囲気づくりをした。

★教科書や資料集を参考に新たに入ってきたものを書いてみよう。これまでの物と比較できるものはそれも併せて、また元々日本にあったものと入ってきたものどちらが当時人気だったかもわかる範囲でまとめてみよう！ (例) ×ちゃんまげ➔ザンギリ頭[○] (ザンギリ頭が優勢)

--

領土の画定と隣接地域

教科書 P. 176、177

<目標>

- ①諸外国や日本の周辺地域とのつながりを説明できるようになる。
- ②明治時代前半の日本の領土を言えるようになる。

●諸外国との関係

- ・清（中国）との関係

➡ ①（ ）を結ぶ。（1871年）日本が外国と結んだ初めての平等な条約

- ・朝鮮との関係（当時朝鮮は鎖国政策をしていた）

➡武力を背景に朝鮮にとって不平等な内容の②（ ）を結ぶ（1876年）

<内容> a) 朝鮮は独立国であるとする。（清は朝鮮を属国と考えていた）

b) 開国をする。

c) 朝鮮の関税自主権を認めない。

d) 日本に領事裁判権を認める。

※c) と d) の内容は日本が幕末に結んだ不平等条約を逆に朝鮮に認めさせたもの

<目的> A) 欧米諸国は国力を付け海外に積極的に進出しているため、日本も真似た

B) 国内の人々の不満を外に向けようとした（＝征韓論） ※詳細は次回の内容で

●沖縄

- ・③（ ）は江戸時代、日本の④（ ）藩と清（中国）の両国に支配される形だった

- ・1871年の⑤（ ）以降、琉球は鹿児島県と中国の支配下が変わる

- ・1872年、⑥（ ）を作り国内外に日本の領有権をアピール

- ・1879年清は抗議するも武力を行使し、廃藩置県を行い⑦（ ）を設置

← ⑧（ ）

※渋々清も沖縄の日本領有を認めたが、関係がスッキリするのは約15年後となる……

●北海道

- ・江戸時代は⑨（ ）と呼ばれ⑩（ ）が支配していた

- ・明治政府が中央政府の地方組織の1つとして⑪（ ）を置き、名称も⑨から

⑫（ ）に改める（1869年）

- ・開発が進む北海道

メリット ◦炭鉱の開発や官営模範工場設立、⑬（ ）ができ農業の改良が進むなど豊かになる。

- 土地を耕すと共に警備や兵士の役割を果たす⑭（ ）に困っていた士族

（元武士）をあてる ※詳細は次回の内容で

デメリット

- 独自の文化を持っていた先住民族の⑮（ ）人は自分たちの土地や仕事を失い、移住もさせられ、生活が困窮

➡固有の文化も失われる

1997年（平成9年）にアイヌ文化振興法ができ、アイヌの文化が見直されるまでの期間、アイヌの人々は苦しい生活が続いた。

●領土の画定【強い国づくりへの政策 10個目】

- ・ロシアと⑯（ ）を結ぶ（1875年）

➡幕末にロシアと結んだ条約で…北方四島→日本領

↓ ⑰（ ）

樺太→ロシア、日本どちらのものでもない

➡樺太を⑱（ ）領とし、千島列島（択捉島の北にある島々）を⑲（ ）領に。

- ・小笠原諸島を日本領とすることをアメリカやイギリスに通知（1876年）

★これらにより日本の領土は

➡北海道、本州、四国、九州に加え、沖縄県・北方四島・千島列島・小笠原諸島となった。

<目的> 欧米諸国は自国の領土が明確になっており、欧米諸国を目指す日本にとっても曖昧ではなく国の範囲を正確に定める必要があった。

★下の地図に→などを付けながら以下の場所を書いていこう

- 北方四島
- 千島列島
- 樺太
- 小笠原諸島
- 沖縄
- ←大体の場所で構わない
- 台湾
- 国境線に横線を入れる

（例）本州

